

第5学年学級活動(2)指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時

学 級：第5学年〇組〇名

場 所：5年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇〇

1 題材 「相手軸で考えて」

学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、友達と活発な議論を重ねながら学習を進めていくこともあるが、発言をする児童が偏る傾向にあり、全員の意見を十分に学級の中で練り上げていくことに課題がある。そこで1人1台端末を用い、発言することに抵抗のある児童も、自分の意見を学級に伝えていく授業を展開していくことに取り組んでいる。

(2) 題材設定の理由

オンライン上での意見交換については、文字情報だけで相手の意図を汲み取るという対面とは異なる技能を要する。児童は、今後メールやチャットなどの文字情報でコミュニケーションをとっていく機会が多くなることが予想され、相手と上手く意思疎通を図るために気を付けるべき事柄に加えて、メッセージを発した相手の心情なども予想しながら、活用する方法を学ぶ。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 本時のねらい

文字を使ったコミュニケーションをとるときに、相手軸で考える大切さを理解し、自分自身が文字を使ったコミュニケーションをとるときに生かすことができるようにする。

5 本時のキーワード

・相手軸

相手の中に存在する軸、答え、考え方など。

6 本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿
<p>導入(つかむ)</p>	<p>1. 本時の学習内容をつかむ。</p>  <p>2. めあてを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>文字で会話するときどのようにしたらよいのか考えよう</p> </div>	<p>○以下の話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>まさしが、家に帰って宿題をしようと思い、連絡帳を開くと、そこには何も書かれていませんでした。まさしは、連絡帳を書くのを忘れていたのです。確か、計ドが出ていたことはかろうじて覚えていたのですが、うろ覚え状態。そこで仲のいい友だち、たくやに携帯電話のメッセージでたずねることにしました。</p> <p>「今日、連絡帳書くのを忘れてた。宿題は、確か計ド9やったよな!？」</p> <p>すると、しばらくしてたくやから返事が返ってきました、</p> <p>「そうじゃない」</p> <p>このメッセージを見たまさしは困ってしまいました。</p> </div>	
<p>展開(さぐる)</p> <p>(見つける)</p>	<p>3. たくやはどのような意図で、この返信をしたのか考える。</p> <p>・まさしからのメールを受けた時のたくやの感情を考える。</p> <p>4. たくやの立場に立って、このような返事をした理由を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対話するポイント</p> </div>	<p>○「そうじゃない」という文字だけの情報から、肯定とも否定ともとれることを共通理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: cyan; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>感情を確認</p> </div> <p>○まさしからのメールを受けた時のたくやの感情を考えようとする。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: cyan; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>原因を特定</p> </div> <p>・面倒 ・しんどい ・怒り ・安心(まさしなら分かる)</p> <p>○たくやは、なぜ「そうじゃない」と送ったのか考えられるようにする。</p> <p>・仲が良いのでこれでまさしに伝わったと思った。 ・実は、仲が良いと思っていたのは、まさしが一方的に思っていただけ。</p>	

	<p>5. 返事の仕方を「まさし」の立場になって考える。 (ワークシート 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たくやが何かしていて、忙しく、「？」や顔文字をつけ忘れていたから。 <p style="text-align: center;">対応を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が「まさし」だったら、どのように返事をするか、考えられるようにする。 <p style="text-align: center;">行動の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・念押しのメールを送る 例)「やっぱり計ド9だよね」 ・今の気持ちを伝える 例)「その返事では、どちらかわからないよ」 ・もう一度回答をたずねる 例)「Yes か No で答えてよ」 <ul style="list-style-type: none"> ○メールなど、文字でコミュニケーションをとるときに大事なことは何か考えられるようにする。 	
<p>まとめ(決める)</p> <p>言葉 相手軸</p>	<p>6. 対面を伴わない、文字でのコミュニケーションで大事なことは、何かを考える。 (ワークシート 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○メールなど、文字でコミュニケーションをとるときにこれから自分が大事にしていきたいことを考えられるようにする。 ・絵文字などを使って、感情を文字に表す。 ・「？」などの記号を上手く使う。 ・翌日出会ったときに、上手く意思疎通できているか、対面で確認する。 ・相手の気持ちになって、自分の送る文章を見返してから送る。 <ul style="list-style-type: none"> ○「相手軸に立って考えよう」という児童がよく耳にする声かけなどの事例をあげて、『相手軸』とはどういう意味なのだろうか?と問いかけ、児童に発言を促す。 	<p>自己の生活をよりよくするために、友達と交流しながら、よりよい人間関係を形成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態度】</p>

	<p>7. 他の事例で対処の方法を考える。 (ワークシート3)</p> 	<p><予想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手中心 ・思いやり ・相手の気持ち <p>○発言の中からキーワードとなる言葉を取り上げながら「相手軸」について解説をし、定義づけをする。「相手軸に立って考える」とは、「自分以外の他の人に対して思いやりをもって接すること」</p> <p>○相手軸に立つことで、相手に理解が深まることや自分の考え方の引き出しが増えることなど、相手軸に立つことがみんなの幸せにつながることを理解できるようにする。</p> <p>○学んだことを生かしながら、事例での対処の方法を考えられるようにする。</p> <p>○ワークシートを持ち帰り、家の人と学びを共有する。</p>	
--	---	---	--